

「地域への関わりに新しい選択肢」



会えなくても、つながれる。「オンライン公民館」

今年4月、新型コロナウイルスの流行で公共施設が休館し、市民活動の場が奪われました。そこで、新たな交流の場として「オンライン公民館」が誕生。始めたのは、久留米を拠点に事業やイベントの企画を行う翁昌史さんと中村路子さんです。参加者はビデオ会議アプリ「ZOOM」上で交流します。5月4日、5日を皮切りに、毎週日曜に開催。参加者はじわじわと増え、多い時は70人ほどが来館しています。

コンセプトは「距離を保つ時代に、心の距離がぐっと近まる」。1日に10数個の多彩な企画が並びます。多くのつながりをつくる「友達の友達の友達とトモダチになれるのか」、久留米緋愛溢れる女性の「カスリトーク」、家族の絆について考える「ファミリータイズ」など。顔を出して企画に参加しても、顔は出さずラジオを聞くように楽しんでもOK。入室も自由です。

ONLINE KOMINKAN-09
2020/6/20 (SUN) 09:45-18:00
ローカルを、まじりにエンターテインメントする。

毎週日曜日は、オンライン公民館。

各アイコンについて
REC YouTubeでの配信があります。LIVE YouTubeでの生配信があります
観覧 観覧 観覧
観覧 観覧 観覧
観覧 観覧 観覧
観覧 観覧 観覧

▶09:45-10:00 REC. 1) 開館式
新企画「OL公の壁」がスタート！各部長の豆知識は、皆さんの心に響くのか！？ (出) OL公民館運営メンバー

▶10:00-10:30 2) ハイカラボックスで健康体操！
あいかわデイサービスからの贈り物 (出) あいかわデイサービス職員

▶10:30-11:30 3) とともともも03 (お母の友達の友達とトモダチになれるのか)
1時間勝負！初めましてからどこまで仲良くなるのか？ (出) OL公民館にふらっと立ち寄ったあなた (司) おきなまさひと OL公民館館長

▶11:30-12:00 REC. 4) 電波にのせて。お父さんへ
面と向かっては言わないあれやこれや～事前にお父さんへのお便りを大募集！ (出) 野田はるか OL公民館農業部会長 (司) そねまゆ 新人OL生活奮闘中

▶12:00-13:00 REC. 5) これがワザのお母さん大学
～お母さんは独りじゃないよ～ (出) ちっこエリアお母さん大学生 池田彩 (レタス) 西山妙佳 (なす) 安達真依 (玉ねぎ) 中村泰子 (レンコン)

▶13:00-13:45 REC. 6) のらくらボックス～ごぼん
あなたのオススメの本は？～テーマ：家族～ (出) ノブコ・マナミ お惣菜の「唱響」 (出) 大石香 (移動式本屋るーごぼん) (出) 野田はるか (のらくらボックス)

▶13:45-14:30 7) OL公民館学生会公開MTG
ネットで大学生が集まるような場をつくるには？ (出) のんちゃん (OL公民館学生会会長・宮崎大学) (出) OL公民館にふらっと立ち寄った学生さんたち

▶14:30-15:00 7) family ties ぼくとわたしのものがた？
主演：こどもたち (小中高生) せんたくラジオ 聞き手：おさかな (小林結奈) こどもあ劇代表 案内役：かっくん (井上和孝) 旗ましています

▶15:00-15:30 8) パパ座談会 小学校ってどんな感じ？
(出) 宮里武行 パパラフ 井上洋人 エーバシ・カイロプラクティック

▶15:30-16:00 REC. 9) テレワークジョッキング
(出) 山田 玲子 NPO 法人ハウスキーピング協会認定 整理収納アドバイザー1級/2級認定講師 (関) パモさん (中村路子)

▶16:00-17:00 REC. 10) よんくる井戸端会議
新社会人に戻っちゃた！？ あなたはどうする？ よんななくるメンバー (出) よんななくるメンバー (出) OL公民館にふらっと立ち寄ったあなた (司) のむらしゅうじ (福岡県庁)

▶17:00-18:00 REC. 12) ガチ会議！ ガチ運営会議
(出) オンライン公民館各部長と皆様

▶閉館-19:00 運営不在!?のオープン懇親会

(写真) ある一日の企画ラインナップ。各企画への参加スタイルをアイコンで表示しています

す。

“機能不全”を“革命”に変換

「きっかけはコロナ禍で街に現れた機能不全。自治の拠点である公共施設が休館するだけで、まちの動きがこんなに止まるんだと実感しました。そんな中でもネットワークコミュニティは動いていた。それを生かそうと思いました」と翁さんは話します。

中村さんは“新しい居場所の誕生”と表現。「地域との関わり方に起こった革命です。地域や人と関わる入口が増えただけでなく、関わり方の幅が広がった。現実の場より気軽に企画を実現できるし、顔を出さずに参加できるから、“透明人間”として場に居られる。今まで地域と関わる機会がなかった人も関わりやすいんじゃないかな」。



(写真) PC上で展開されるオンライン公民館の講座の一コマ

新たな可能性。オンラインで出会い、リアルでもつながる

インターネット上のオンラインは、距離を超越できるツール。世界中から誰でも参加できます。しかし、たくさんの“地元の人たち”で賑わっているのが、このオンライン公民館です。

「地域に飛び込むのは敷居が高い」「家から出るのがおっくう」「暇が無い」。近くに居ながらも繋がりがきれてなかった人たちの心の壁を取り去っています。世代や立場を越えて、今まで会った事の無い“ご近所さん”たちが繋がっています。

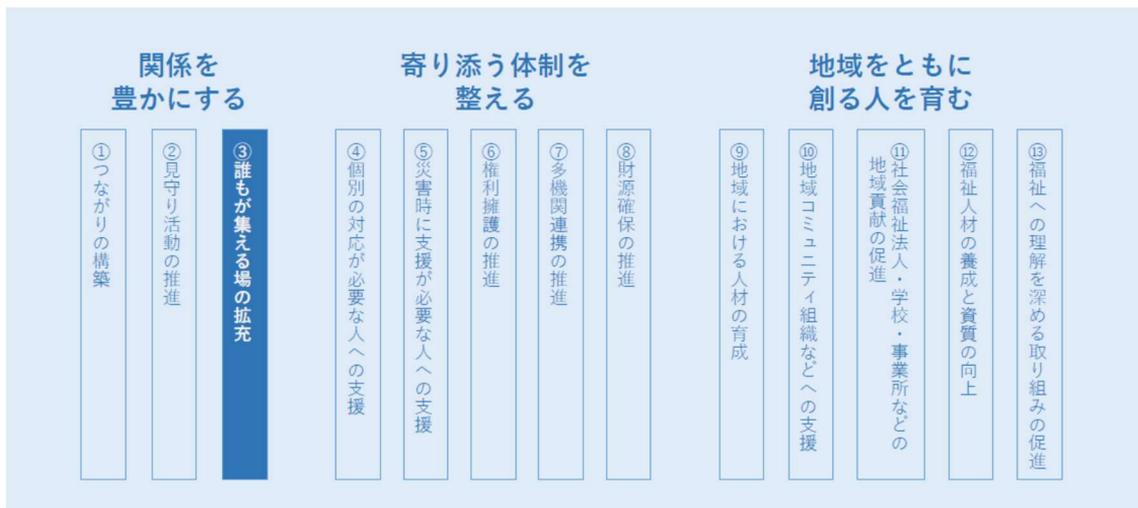
オンラインだけでなく、現実の地域と融合した企画も生まれています。7月5日、江上校区コミュニティセンターの池口隆会長が出演しました。中村さんと校区を歩きながら、名所や史跡をクイズ形式で紹介。画面を通して参加者と交流しました。これからも市内各所で展開される予定で、新たなつながりを生む可能性を秘めています。



(写真) オンライン公民館事務局の中村さん(左)が池口会長と一緒にまち歩き

オンライン公民館は、日本公民館学会も注目。定例会の課題研究の題材に選ばれました。自らを“ギリギリ”公民館世代と言う2人が生んだ、新たな集いの場の形。じわりと広がりを見せています。(第1回終わり)

この動き「くるめ支え合うプラン」ではどの取り組み？



[久留米支え合うプランのページへ](https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2050fukushi/3100chiikikeikaku/2020-0401-sasaeauplan.html)

<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2050fukushi/3100chiikikeikaku/2020-0401-sasaeauplan.html>